

Anan College		Year	2024	Course Title	Strength and Fracture of Materials	
Course Information						
Course Code	5217M02		Course Category	Specialized / Compulsory		
Class Format	Lecture		Credits	Academic Credit: 2		
Department	Course of Mechanical Engineering		Student Grade	Adv. 2nd		
Term	First Semester		Classes per Week	前期:2		
Textbook and/or Teaching Materials	金属の強度と破壊 P O D 版 (森北出版) / 百万人の金属学 (アグネ技術センター)、材料の科学と工学 1 ~ 4 (培風館)					
Instructor	Okumoto Yoshihiro					
Course Objectives						
1. 弾性変形と塑性変形が区別でき、説明できる。 2. 金属の理論的強度について概算できる。 3. 金属の破壊現象について説明できる。						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)		
到達目標1		弾性変形と塑性変形が区別でき、図表等を作成し説明できる。	弾性変形と塑性変形が区別でき、口頭で説明できる。	弾性変形と塑性変形が区別できる。		
到達目標2		金属の理論的強度を考える際のモデリングが理解でき、概算できる。	金属の理論的強度を考える際のモデリングが理解でき、口頭で説明できる。	金属の理論的強度を考える際のモデリングが理解できる。		
到達目標3		金属の破壊現象について、具体例を与えられたときに解析できる。	金属の破壊現象について、理解した上で、分類・説明できる。	金属の破壊現象について理解できる。		
Assigned Department Objectives						
D-1						
Teaching Method						
Outline	本講義では材料の強さに着目し、原子レベルでのミクロな視点から材料の破壊現象を読み取る力を養成する。なお、本講義で対象とする材料は金属に限定する。					
Style	教科書にしたがって講義を進めていきます。必要な計算問題等については追加します。講義でやりきれなかった内容についてはmanabaを使って伝達します。 【授業時間30時間+自学自習時間60時間】					
Notice	機械工学を今まで学んできて、材料学と材料力学との結びつきについてまとめて考える機会がなかったかもしれない。材料の微視的構造を考慮に入れて材料の破壊の原理について学ぶことは必ずや構造物を設計する際に役立つと思われる。なお、基本的な力学的項目は本科学で学んでいるものとして進めていく。					
Characteristics of Class / Division in Learning						
<input checked="" type="checkbox"/> Active Learning		<input type="checkbox"/> Aided by ICT		<input checked="" type="checkbox"/> Applicable to Remote Class		<input type="checkbox"/> Instructor Professionally Experienced
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	0.講義ガイダンス	金属についてこれまで学んできたことを整理できる。		
		2nd	1.]原子結合から見た弾性変形	弾性変形の微視的モデルを理解できる。		
		3rd	2.破壊力学概説 理論的引張り強さ	理論的引張り強さの導出過程を理解できる。		
		4th	2.破壊力学概説 破壊靱性 (1)	破壊靱性の概念を理解できる。		
		5th	2.破壊力学概説 破壊靱性 (2)	破壊靱性の概念を理解できる。		
		6th	2.破壊力学概説 破壊靱性 (3)	破壊靱性の測定方法が理解できる。		
		7th	3.疲労破壊	BCC金属における疲労破壊現象が理解できる。		
		8th	中間試験	60点以上		
	2nd Quarter	9th	4.金属の塑性変形 理論的せん断強さ	理論的せん断強さの導出過程を理解できる。		
		10th	4.金属の塑性変形 転位論の導入	転位の存在が理解できる。		
		11th	5.塑性変形における温度の影響 (1)	活性化エネルギーの概念が理解できる。		
		12th	5.塑性変形における温度の影響 (2)	クリープ寿命が計算できる。		
		13th	6.固体内の拡散	拡散の法則に基づく計算ができる。		
		14th	7.金属の強化メカニズム (1)	加工硬化と固溶強化が理解できる。		
		15th	7.金属の強化メカニズム (2)	マルテンサイト変態強化が理解できる。		
		16th	期末試験の返却	-		
Evaluation Method and Weight (%)						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	70	20	10	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	20	10	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0